

福島第一原子力発電所 3号機廃棄物地下貯蔵建屋内 配管からの廃液の漏えいについて

< 参 考 資 料 >
2 0 2 0 年 9 月 2 日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

【概要】

- 昨日（9月1日）午後6時18分、3号機廃棄物地下貯蔵建屋（以下「同建屋」）の地下1階にあるタンクの接続配管から、同建屋内に廃液が漏えいしていることを、当社社員が確認しました。
- 漏えいした廃液は、震災前、原子炉冷却材の浄化に使用した廃樹脂を貯蔵したタンクから漏えいしたものです。また、漏えいした廃液の分析結果は以下の通りです。
セシウム137: 9.9×10^4 Bq/L、コバルト60: 6.7×10^4 Bq/L、全ベータ: 1.8×10^5 Bq/L
（セシウム134:検出限界未満（検出限界値: 2.6×10^2 Bq/L））
- 同建屋は外部との連通部が無いこと、および、同建屋内の水位は、同建屋付近のサブドレンの水位よりも十分低いことから、漏えいした廃液は、同建屋内に留まっているものと考えております。
- なお、同建屋付近にあるNo.37サブドレン水の放射能濃度、および敷地境界モニタリングポストや連続ダストモニタに有意な変動は確認されていません。
- 直ちに配管を補修することが難しいことから、現在も漏えいは継続しておりますが、仮設ポンプでの廃液の移送準備が整ったため、本日（9月2日）午前8時40分、同建屋内に溜まった廃液について、3号機廃棄物処理建屋への移送を開始しております。
- 今後、漏えいした原因を調査し、適切に再発防止対策を講じてまいります。

【参考】3号機廃棄物地下貯蔵建屋 状況

